



## 2021年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月15日

上場会社名 株式会社 大庄  
 コード番号 9979 URL <http://www.daisy.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 平 了寿  
 (氏名) 野間 信護  
 TEL 03-5764-2229

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日～2021年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	28,453	19.1	4,613		4,461		5,092	
2020年8月期第3四半期	35,157	23.6	1,436		1,340		4,616	

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 5,215百万円 ( %) 2020年8月期第3四半期 4,608百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	242.68	
2020年8月期第3四半期	219.98	

当連結経営成績には、新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金及び感染拡大防止協力金の未申請分2,058百万円(実質当第3四半期連結累計期間相当分)が計上されておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期第3四半期	34,289	10,918	31.8	520.22
2020年8月期	40,799	16,133	39.5	768.65

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 10,916百万円 2020年8月期 16,130百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期		6.00		0.00	6.00
2021年8月期		0.00			
2021年8月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年8月期の期末配当金予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,400	9.9	5,910		5,740		4,320		205.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期3Q	21,198,962 株	2020年8月期	21,198,962 株
期末自己株式数	2021年8月期3Q	213,760 株	2020年8月期	213,720 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期3Q	20,985,203 株	2020年8月期3Q	20,985,312 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い経済活動が大きく制限を受ける中、企業収益や景況感が悪化し、個人消費も落ち込むなど極めて厳しい状況で推移いたしました。また感染拡大の収束時期は未だ見通せず、先行きも不透明な状況が続いております。外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた各自治体からの営業自粛要請やインバウンド需要の消失、さらにテレワークの普及や新しい生活様式の変化等により店舗を利用した飲食が減少し、デリバリーやテイクアウトの継続的な利用など、経営環境が大きく変化しております。

このような状況下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の台所」としての役割を果たすと共に、日本の食文化と居酒屋文化の発展に貢献するなどの基本方針にこだわり、軸をぶらさず誠実な店舗運営・事業運営を行ってまいりました。また、企業価値の向上を目指し早急な業績の改善を図るため、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を継続するとともに、デリバリー・テイクアウトサービスの推進、外販事業の強化、宴会を含めた店舗利用の在り方へのフレキシブルな対応強化、全社的な経費削減への取組み、リブランディングの推進継続等の施策に取り組み、さらに事業ポートフォリオの見直しの一環として、カラオケ事業の譲渡を行いました。

店舗展開におきましては、新規出店を3店舗、店舗改装を3店舗、店舗閉鎖(事業譲渡含む)を66店舗で行った結果、当第3四半期連結会計期間末の直営店舗数は408店舗(前期末は471店舗)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ19.1%減少の28,453百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に対する2回目、3回目の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置における各自治体からの営業時短要請に伴う営業時間の短縮及び一部店舗における休業実施等が影響し、売上高は前年同期に比べ45.2%減少の13,838百万円となりました。

卸売事業につきましては、グループ外部取引先への食材卸売が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ188.7%増加の7,531百万円となりました。

不動産事業につきましては、転貸を含む賃借物件の家賃収入が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ6.0%減少の839百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗の減少に伴いロイヤリティ収入が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ37.3%減少の178百万円となりました。

運送事業につきましては、売上高は前年同期に比べほぼ横ばいの5,795百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ15.5%減少の269百万円となりました。

利益面につきましては、営業損失は4,613百万円(前年同期は営業損失1,436百万円)、経常損失は4,461百万円(前年同期は経常損失1,340百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、新型コロナウイルス感染症にかかる臨時休業期間及び営業時間の短縮中に発生した店舗運営にかかる固定費を特別損失に計上したことなどが影響し、5,092百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4,616百万円)となりました。なお、当第3四半期連結会計期間における経営成績には、新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金及び感染拡大防止協力金の未申請分2,058百万円(実質当第3四半期連結累計期間相当分)が計上されておられません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態について

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は10,943百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,524百万円減少となりました。これは、現金及び預金が4,577百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は23,332百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,983百万円減少となりました。これは、投資有価証券が910百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は8,945百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,222百万円増加となりました。これは、新型コロナウイルス感染症による先行き不透明な状況に備え手元資金を確保するための資金調達を実施したことにより短期借入金が1,190百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は14,425百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,517百万円減少となりました。これは、長期借入金が2,201百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は10,918百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,215百万円減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失5,092百万円を計上したこと等によるものであります。

②資金面について

新型コロナウイルス感染症の影響下における資金面については、2021年5月末時点において、当第3四半期連結会計期間相当分の雇用調整助成金及び感染拡大防止協力金の未入金分が3,449百万円あり、また、来期まで見据えた安定資金の確保を目的として、2021年3月末に総額5,200百万円のコミットメントライン契約を締結しており(2021年5月末時点未使用残高4,160百万円)、事業活動に支障のない十全な手元流動性を確保できております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症による今後の影響は引き続き不透明な状況にあります。このような状況の中で、当社においては、本日開示しております「当期における店舗政策の取組みについて」に記載のとおり、今般あらためて一定数の店舗閉店及び新業態への業態変更等を実施する予定です。当店舗政策における今期業績への影響につきましては、2021年4月14日付で開示いたしました通期連結業績予想において追加で一定の影響が見込まれますが、現時点では大きくは乖離しないと見込んでいるため、通期連結業績予想につきましては据え置きとさせていただきます。

あらためて開示が必要と判断される場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,173	6,596
売掛金	1,733	1,501
商品及び製品	539	527
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	121	89
その他	946	2,278
貸倒引当金	△47	△49
流動資産合計	14,468	10,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,343	7,909
機械装置及び運搬具(純額)	824	691
工具、器具及び備品(純額)	487	333
土地	3,785	3,787
リース資産(純額)	579	564
建設仮勘定	161	157
有形固定資産合計	15,183	13,444
無形固定資産		
借地権	913	1,704
ソフトウェア	385	254
その他	137	127
無形固定資産合計	1,435	2,086
投資その他の資産		
投資有価証券	1,036	126
出資金	3	1
長期貸付金	13	11
差入保証金	5,577	4,972
敷金	2,890	2,552
繰延税金資産	34	28
その他	181	140
貸倒引当金	△40	△31
投資その他の資産合計	9,696	7,801
固定資産合計	26,316	23,332
繰延資産		
社債発行費	15	13
繰延資産合計	15	13
資産合計	40,799	34,289

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,324	926
短期借入金	40	1,230
1年内返済予定の長期借入金	3,198	4,060
1年内償還予定の社債	130	130
リース債務	98	99
未払金	1,613	1,361
未払法人税等	115	89
未払消費税等	376	96
賞与引当金	376	159
株主優待引当金	138	123
店舗閉鎖損失引当金	4	23
資産除去債務	14	86
その他	291	560
流動負債合計	7,723	8,945
固定負債		
社債	685	555
長期借入金	11,272	9,070
リース債務	546	527
退職給付に係る負債	1,886	1,810
役員退職慰労引当金	182	166
受入保証金	595	837
資産除去債務	1,218	1,039
繰延税金負債	551	417
その他	5	1
固定負債合計	16,943	14,425
負債合計	24,666	23,371
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	18,740	14,794
利益剰余金	△2,612	△3,758
自己株式	△250	△250
株主資本合計	15,977	10,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	37
土地再評価差額金	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	152	31
非支配株主持分	2	1
純資産合計	16,133	10,918
負債純資産合計	40,799	34,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	35,157	28,453
売上原価	15,687	17,330
売上総利益	19,469	11,123
販売費及び一般管理費	20,905	15,737
営業損失(△)	△1,436	△4,613
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	2	34
受取保険金	39	20
貸倒引当金戻入額	52	0
投資有価証券売却益	-	125
その他	69	62
営業外収益合計	169	246
営業外費用		
支払利息	23	46
事業支援損	24	-
その他	25	48
営業外費用合計	73	94
経常損失(△)	△1,340	△4,461
特別利益		
固定資産売却益	2	11
受取補償金	10	167
事業譲渡益	-	99
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	-	1,708
雇用調整助成金	15	690
特別利益合計	28	2,677
特別損失		
固定資産売却損	23	-
固定資産除却損	78	3
店舗関係整理損	27	11
減損損失	215	482
店舗閉鎖損失引当金繰入額	0	23
新型コロナウイルス感染症による損失	2,646	2,765
固定資産圧縮損	11	-
特別損失合計	3,002	3,287
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,315	△5,070
法人税、住民税及び事業税	144	88
法人税等調整額	149	△64
法人税等合計	294	23
四半期純損失(△)	△4,609	△5,094
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,616	△5,092



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純損失(△)	△4,609	△5,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△120
その他の包括利益合計	1	△120
四半期包括利益	△4,608	△5,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,614	△5,213
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

第2四半期連結会計期間末において、新型コロナウイルス感染症拡大の現状を考慮し、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、見直しを行いました。

なお、当第3四半期連結会計期間において、この会計上の見積り及び仮定は変更しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	25,243	2,609	892	284	5,807	34,838	319	35,157	—	35,157
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	5,592	246	0	830	6,671	288	6,959	△6,959	—
計	25,244	8,201	1,139	285	6,638	41,509	607	42,116	△6,959	35,157
セグメント利益又は損失 (△)	7	△193	292	112	△29	188	55	243	△1,679	△1,436

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,679百万円には、セグメント間の取引消去403百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,083百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において213百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において0百万円であります。

「フランチャイズ事業」セグメントにおいて、フランチャイズ店への賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2021年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	運送事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	13,838	7,531	839	178	5,795	28,183	269	28,453	-	28,453
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	3,688	232	0	709	4,632	226	4,858	△4,858	-
計	13,840	11,220	1,071	179	6,504	32,816	495	33,312	△4,858	28,453
セグメント利益又は損失 (△)	△3,137	△306	271	30	37	△3,104	20	△3,084	△1,529	△4,613

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,529百万円には、セグメント間の取引消去401百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,930百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において462百万円であります。

「フランチャイズ事業」セグメントにおいて、フランチャイズ店への賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において20百万円であります。